

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数																																																																
看護学 ----- 3セメスター 水・4, 5	看護技術論	丸山 良子 杉山 敏子	必修	2																																																																
授業題目	看護援助技術の基本を学ぶ																																																																			
授業科目の目的・概要及び到達目標等																																																																				
<p>看護の対象となる人への基本的な看護援助技術を学びます。</p> <p>看護の対象となる人に必要とされる適切な看護援助を行うことは、看護職に求められる基本的な能力です。</p> <p>看護援助の基本であるこれらの援助技術を学びながら、看護技術の科学的根拠を明らかにし、さらに発展させることの出来る思考力を養うことを目的とします。</p>																																																																				
授業計画																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ガイダンス</td><td>16</td><td>清潔(2)</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護援助技術の基本(1)</td><td>17</td><td>清潔(3)</td></tr> <tr><td>3</td><td>看護援助技術の基本(2)</td><td>18</td><td>清潔(4)</td></tr> <tr><td>4</td><td>看護援助技術の基本(3)</td><td>19</td><td>栄養(1)</td></tr> <tr><td>5</td><td>コミュニケーションの技術(1)</td><td>20</td><td>栄養(2)</td></tr> <tr><td>6</td><td>コミュニケーションの技術(2)</td><td>21</td><td>排泄 (1)</td></tr> <tr><td>7</td><td>安全を守る技術 (1)</td><td>22</td><td>排泄 (2)</td></tr> <tr><td>8</td><td>安全を守る技術 (2)</td><td>23</td><td>排泄 (3)</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボディメカニクス(1)</td><td>24</td><td>体液バランス</td></tr> <tr><td>10</td><td>ボディメカニクス(2)</td><td>25</td><td>活動と休息</td></tr> <tr><td>11</td><td>安全・安楽(1)</td><td>26</td><td>安全を守る技術 (1)</td></tr> <tr><td>12</td><td>安全・安楽(2)</td><td>27</td><td>安全を守る技術 (2)</td></tr> <tr><td>13</td><td>環境(1)</td><td>28</td><td>記録と報告</td></tr> <tr><td>14</td><td>環境(2)</td><td>29</td><td>総合</td></tr> <tr><td>15</td><td>清潔(1)</td><td>30</td><td>試験</td></tr> </tbody> </table>					回数	内容	回数	内容	1	ガイダンス	16	清潔(2)	2	看護援助技術の基本(1)	17	清潔(3)	3	看護援助技術の基本(2)	18	清潔(4)	4	看護援助技術の基本(3)	19	栄養(1)	5	コミュニケーションの技術(1)	20	栄養(2)	6	コミュニケーションの技術(2)	21	排泄 (1)	7	安全を守る技術 (1)	22	排泄 (2)	8	安全を守る技術 (2)	23	排泄 (3)	9	ボディメカニクス(1)	24	体液バランス	10	ボディメカニクス(2)	25	活動と休息	11	安全・安楽(1)	26	安全を守る技術 (1)	12	安全・安楽(2)	27	安全を守る技術 (2)	13	環境(1)	28	記録と報告	14	環境(2)	29	総合	15	清潔(1)	30	試験
回数	内容	回数	内容																																																																	
1	ガイダンス	16	清潔(2)																																																																	
2	看護援助技術の基本(1)	17	清潔(3)																																																																	
3	看護援助技術の基本(2)	18	清潔(4)																																																																	
4	看護援助技術の基本(3)	19	栄養(1)																																																																	
5	コミュニケーションの技術(1)	20	栄養(2)																																																																	
6	コミュニケーションの技術(2)	21	排泄 (1)																																																																	
7	安全を守る技術 (1)	22	排泄 (2)																																																																	
8	安全を守る技術 (2)	23	排泄 (3)																																																																	
9	ボディメカニクス(1)	24	体液バランス																																																																	
10	ボディメカニクス(2)	25	活動と休息																																																																	
11	安全・安楽(1)	26	安全を守る技術 (1)																																																																	
12	安全・安楽(2)	27	安全を守る技術 (2)																																																																	
13	環境(1)	28	記録と報告																																																																	
14	環境(2)	29	総合																																																																	
15	清潔(1)	30	試験																																																																	
成績評価の方法及び基準																																																																				
<p>試験は筆記だけでなく実技を課す場合もあります。</p> <p>試験、演習、課題、出席状況を総合的に判断します。</p> <p>(試験 70%、その他 30%)</p>																																																																				
教科書・参考書																																																																				
教科書は特に指定しません。																																																																				